

令和7年4月発行



丹波山村
地域おこし協力隊

地域おこし協力隊通信

令和7年度 委嘱式

vol.25



令和7年度4月採用 新メンバー紹介

見かけたら声をかけてください！



たかはしまお
高橋 真生



むらかみ はるき
村山 陽基



うちだ ゆい
内田 唯

令和7年度 丹波山村 地域おこし協力隊 委嘱式

令和7年度の地域おこし協力隊の委嘱式を4月1日、丹波山村役場2階で行いました。新たな協力隊員3人を迎え、今年度は12人で活動を開始しました。これからも村民の一員として、丹波山での活動をさらに充実させていく所存です。みなさまの期待に応えられるよう、協力隊一同、力を合わせて頑張りますので、引き続きよろしくお願いします。

矢嶋さん!3年間お世話になりました

年度末恒例の卒業隊員の送別会をTABA CAFEで開きました。現役隊員、OBOGと役場職員の総勢20人が参加。美味しい料理と共に賑やかな時間を過ごし、卒業する隊員から活動中の思い出や現役隊員への激励の言葉が贈られました。そして、役場の担当として地域おこし協力隊員の支えとなり、応援してくれた矢嶋 澄香さんが地域創造課から異動となりました。これからも益々のご活躍を期待しております！



協力隊担当として3年間お世話になった矢嶋さんに花束を

清里開拓団のお話を聞きに行きました

雪解けを肌で感じる事が出来るほど暖かな3月13日、丹波山村の地域おこし協力隊員を中心とする12人が北杜市高根町清里を車3台に分乗して訪問。鴨沢地区の火災の寄附金のお礼と、鴨沢地区から清里に入植した「清里開拓団」の歴史、丹波山村との今につながる関係を学びました。

清里開拓団の方々から丹波山村へ寄附

昨年10月に火災が発生した鴨沢地区の復興支援のため、2月3日、2歳の時に鴨沢地区から清里へ移った酒井治孝さん、青柳康子さんから清里開拓団の関係者が丹波山村役場を訪れ、木下喜人村長に寄附金を贈呈しました。



プロジェクト 鴨沢



船木上次さん

清里開拓団の2世で清里高原の複合観光施設「萌木の村」の代表である船木 上次(ふなき じょうじ)さんに清里開拓団の歴史についてお伺いしました。

小河内ダム建設に伴い、鴨沢地区から清里へ移植を決断した28戸の人々は、未開の原野だった清里を粗末な農具だけで開拓しはじめました。移植の補償金はわずかなもので開拓民はバラックに寄り添って暮らす極貧の生活でした。そして戦争により多くの若者を失い、暮らしはより厳しくなりました。戦後、清泉寮を作ったポール・ラッシュ氏の教えの下、高原に適した野菜の栽培や酪農を営み始めました。時代の趨勢に翻弄されながらも開拓団の2世、3世は、この地で生きてきました。

船木さんにお話をお伺いした後、開拓団の人たちのお墓をお参りしました。キリスト教をベースとした教育機関の設立に尽力したポール・ラッシュ氏の影響もあり、お墓は仏教とキリスト教が混在したものでした。墓標には、「船木」や「嶋崎」など丹波山村の氏がいくつも見られました。そして、すべての墓標は、南東の方角を向いていました。その先には、開拓団のふるさと丹波山村があります。



故郷 丹波山の方角を向いた墓標



開拓団関係者のうち丹波山で生まれた方はもう3人しか残っていないそうです。3世以降の人で丹波山村との繋がりについて深く理解している人は、もう少ないのではないかと感じました。しかし、ふるさとを想う気持ちは、語り継がれることで歴史となり、今につながる記憶となります。清里に移り住んだ人々にとって丹波山村が心のふるさとであり続けるよう、丹波山村の移住者である私たち協力隊も、歴史を知り、清里との深い絆を受け継いでいきたいと思います。